

| | | | | | |
|-------|-------|-----|------|------|----|
| 教科 | 工業 | 科目名 | 課題研究 | 単位数 | 3 |
| 学科 | インテリア | 学年 | 3 学年 | 履修区分 | 必修 |
| 使用教科書 | | | | | |
| 副教材など | | | | | |

1. 科目の目的

工業に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育成することを目的とします。

2. 授業の内容と進め方

生徒自らが、作品製作、調査・研究、実験、現場実習、資格取得等の分野に関する研究テーマを設定し、計画を立て、製作や調査・研究などを行い、製作品の完成、結果の整理及び発表を通して、研究を深めるとともに専門性の深化を図ります。

3. 学習する上での留意点

- 1) 生徒の興味・関心・進路希望に応じて個人又は、グループで適切な研究テーマを設定します。
- 2) 学校の施設・設備、費用、完成までの工程・期間、生徒自らの能力・適正などを考慮します。
- 3) 研究成果を整理し、分かりやすく発表できるように研究を深めます。
- 4) 作品製作において刃物や木工機械を使用する場合は、特に安全教育・環境整備に留意します。
- 5) 学校内および、校外に研究成果の発表展示会を設定し、保護者や地域住民にも参観できるように配慮します。

4. 課題等について

実施した日は毎日、個人日誌に作業工程の内容、感想、次回の準備、自己評価を記入して提出します。

授業時間で不足する分は課題とし、各自の自主学習・作業によって補い、製作品は年間計画の範囲で完成させるようにします。

5. 成績評価規準(評価の観点及び趣旨)

| 評価の観点 | 評価規準 |
|----------|---|
| 関心・意欲・態度 | 工業に関連する基本的な技術や技能に興味・関心を持ち、課題に意欲的に取り組むとともに、実際に活用しようとする創造的、実践的な態度を身につけているかを評価します。 |
| 思考・判断・表現 | 各研究内容について、理論・原理、および工程・操作方法等が適正であるかを判断する能力、また、直面する諸問題について、その解決を目指して思考を深め、自ら判断できる力と創意工夫する能力を身につけているか。 |
| 技能 | 工業に関する基礎的・基本的な技術を身につけ、デザイン・設計した製品の使用目的に適した材料を選択し、合理的な手順や工程を計画し、各工程に適切な機械や器具を安全や環境に配慮し、正しく使って作業する技術を身につけているか、 |
| 知識・理解 | 工業に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、各研究内容についての知識や関連知識を習得し、工業技術を生活向上に実現させようとする目的を理解しているか。また、その成果を的確に作品に表現しているか。および、研究発表会での表現力を評価します。 |

6. 評価の方法

評価の観点に基づき、出席状況、個人日誌、課題研究報告書、研究成果の発表態度・内容、製作品はその完成度および、自己評価を加味して総合的に判断し、評価します。

《指導計画》 科目名 課題研究

3 学年

3 単位

| 学期 | 月 | 学習内容 (単元・考査等) | 学習のねらい | 評価方法等 |
|-------------|----|---|--|--------------------|
| 一 学 期 | 4 | 希望テーマの調査 グループ編成 テーマ調節・設定 年間研究計画の作成 製作工程表の製作 | オリエンテーション 第1 テーマ 「木製家具製作」 エレメント材料, 家具の構造, 塗装等の基礎知識を基に, 設定したインテリアに適合する, 合理的なオリジナル家具をデザイン・設計し, 製作工程表を作成し, 安全に留意して加工を進め, 機能性, 安全性, 耐久性, 審美性, 経済性を備えた完成度の高い作品を仕上げる, ものづくりの精神および技術と態度を習得する。 | 助言・行動観察 日誌・自己評価 |
| | 5 | 情報収集・デザイン・設計 材料調達・機材調達 | | 助言・行動観察 日誌・自己評価 |
| | 6 | 調査・研究・製作 | | |
| | 7 | | 第2 テーマ 「インテリア模型製作」 安全で快適なインテリアデザイン計画やインテリア様式の基礎を理解し, 自ら条件を設定して, 計画意図に基づいて, 設計し, 図面どおりのスケール1/12のインテリア模型を製作する。 色彩計画, 材質感に留意し, 生活場面を忠実に表現する技術を習得する。 | 助言・行動観察 日誌・自己評価 |
| | 9 | グループ内の中間発表会 | | |
| | 10 | 調整・研究・製作 | 第3 テーマ 「福祉玩具の研究と製作」 インテリア計画, ユニバーサルデザイン, バリアフリーデザイン等の基礎知識を基に, 作業療法に使用するリハビリ用具や, 玩具を研究し, デザインして製作するものづくりの精神および技術と態度を育成する。 | 助言・行動観察 日誌・自己評価 |
| | 11 | | 第4 テーマ 「七宝焼き」 釉薬の種類(透明・半透明・不透明)と多彩な色および焼成炉の温度の違いの組合せによる, 色々な技法および技術を習得する。 | 助言・行動観察 日誌・自己評価 |
| 二 学 期 | 12 | 研究成果の整理及び発表準備 研究成果報告書の提出 | 第5 テーマ 「アイデア技術」 インテリアエレメントにおいて, 改良・改善, あるいはオリジナルのデザイン・機能性などを研究し, モデル製品を製作する技術を習得する。 | 助言・行動観察 日誌・自己評価 |
| | 1 | 発表原稿の作成と提出 | | |
| | 2 | 研究成果の発表会 全体での発表 | | |
| 三 学 期 | 3 | | | |